



鳥取県立美術館 / 2026 年度 展覧会ラインナップ

4 つの企画展と 19 のコレクション展

<p>2026年4月11日[土]～6月14日[日]</p> <p>ポップ・アート 時代を変えた4人 *POP ART:THE FAB 4! & 4 SPECIAL GUESTS*</p> <p>1960年代にアメリカで花開いたポップ・アート。その影響は美術の枠に留まらず文化全般、ファッションなど文化全般に及びました。本展ではその代表的な作家、ロイ・リキエンホルム、ロバート・ラウシェンバーグ、ジャスパー・ジョーンズを軸に、今なお我々の心を驚かすポップ・アートの魅力に迫ります。</p> 	<p>2026年7月11日[土]～8月30日[日]</p> <p>マンガを拓く 谷口ジロー展</p> <p>漫画の領域で、昭和38年の着書と舞台として『謎の顔くま』やドラマでも人気を博す『謎の顔くま』を描き出した漫画家・谷口ジロー(1947-2017 / 鳥取県出身)。デビューから約50年、その創作は多岐にわたる。「歩く」といった日々の足音から、「歩く」という抽象的な概念に至るまでマンガに昇華してきました。本展では、その探究心が切り拓いた創造の軌跡を紹介いたします。</p> 	<p>2026年10月10日[土]～12月13日[日]</p> <p>生誕130年 前田寛治 ー ポエジとレアリズム ー一九三〇年協会設立100年</p> <p>前田寛治の生誕130年を記念する大規模な回顧展。33歳にして早逝した寛治が独自の写実論を追求する中で生み出した実に多彩な作品を通して、その眼識を支えた「ポエジ」と「レアリズム」(写実主義)がどのようなものであったかを追跡します。また、画民協業や佐伯祐三ら、若き画家仲間と設立した「一九三〇年協会」の出品作品も併せて御覧いただきます。</p> 	<p>2027年2月11日[木・祝]～4月11日[日]</p> <p>ゴジラ生誕70周年記念 ゴジラ・THE・アート展</p> <p>「ゴジラ」は、今なお急成長を遂げつつあり、世界中で愛される存在であり続けています。本展は、豊田副武をモデルとしたゴジラがゴジラという存在をテーマに制作した独創的なアート作品群による大規模な展覧会です。ゴジラの造形美や造像の魅力についても、各々のミニチュアや映画、当時の資料などの展示により紹介します。</p> 
<p>観覧料(団体・個人) 一般 学生 高校生 小中学生</p> <p>1500円(1500円) 950円(950円) 500円(400円) 300円(200円)</p>			
<p>3F 企画展示</p> <p>4 April 5 May 6 June 7 July 8 August 9 September 10 October 11 November 12 December 13 January 2 February 3 March</p> <p>ポップ・アート 時代を変えた4人 4/11(土) - 6/14(日)</p> <p>マンガを拓く 谷口ジロー展 7/11(土) - 8/30(日)</p> <p>生誕130年 前田寛治 10/10(土) - 12/13(日)</p> <p>ゴジラ・THE・アート展 2/11(木祝) - 4/11(日)</p>			
<p>2F コレクション展</p> <p>ギャラリー1-2 特集 砂の光景 - 4/5(日)</p> <p>ギャラリー3 現代の形類02 現代の指差 - 5/17(日)</p> <p>ギャラリー4 前田寛治の素描 - 4/19(日)</p> <p>ギャラリー5 花の大聖堂の美術館 - 4/19(日)</p> <p>特別展示 津田台児 宇賀良、守備物以外の作品を語る 4/8(土) - 5/21(日)</p> <p>石谷コレクションの陶芸 澤水九兵衛 6/6(土) - 9/6(日)</p> <p>特別展示 物部展一 5/16(土) - 7/12(日)</p> <p>遠かに山木に逢ふ 5/16(土) - 7/12(日)</p> <p>岡村貞右衛門さんが描いた動物たち 8/1(土) - 9/27(日)</p> <p>受胎記念 福井貞子展 一併につままれて 8/1(土) - 9/27(日)</p> <p>特別展示 前田昭博 モード- 身体表現のあれこれ 8/19(土) - 12/13(日)</p> <p>前田寛治関連企画: もうひとつの異時代 10/17(土) - 12/20(日)</p> <p>小早川秋聲 月の世界旅行 10/17(土) - 12/20(日)</p> <p>警察犬・原崎きこり- 吉染の美 辻堂 堀内正和・八木一夫 1/4(月) - 3/22(月祝)</p> <p>企画展示 セレクション 写真セレクション 1/23(土) - 3/22(月祝)</p> <p>特別展示 申佳運寄 10/17(土) - 12/20(日)</p>			

鳥取県立美術館（鳥取県倉吉市、館長 尾崎信一郎）が2026年度（2026年4月～2027年3月）に開催する企画展とコレクション展についてご紹介いたします。

3F 企画展示室で開催する企画展では、春の『ポップ・アート』夏の『谷口ジロー』秋の『前田寛治』冬の『ゴジラ』の4つの展示をお楽しみいただけます。

また、鳥取県立博物館時代より収集している当館の約1万点のコレクションの中から、洋画・彫刻・写真・日本画など各テーマに沿って紹介するコレクション展では、2Fにある1～5のコレクションルームで19の展示を行います。濱田台児、前田昭博、福井貞子、辻堂、前田寛治、小早川秋聲の作品や、アンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》も年間を通じてご覧いただけます。



2026 年度開催の企画展

【春】2026/4/11 [土] ~6/14 [日]

ポップ・アート時代を変えた4人

"POP ART:THE FAB 4! & 4 SPECIAL GUESTS"

【みどころ】

1960年代にアメリカで花開いたポップ・アート。その影響は美術の枠に留まらず音楽や映画、ファッションなど文化全般に広がりました。本展ではその代表的な作家、ロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホル、ロバート・ラウシェンバーグ、ジャスパー・ジョーンズを軸に、今なお我々の心を魅了するポップ・アートの魅力に迫ります。



<https://tottori-moa.jp/exhibition/view/popart/>

【休館日】毎週月曜日(5/4は開館)

【観覧料(団体・前売)】※

一般 1500(1200)円/学生 950(750)円/高校生 500(400)円/小中学生 300(240)円

【オンライン限定/「ブリロの箱 黄金のポルポローネ」付き観覧券】一般 2000(1700)円

【主催】ポップ・アート展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、TSKさんいん中央テレビ、日本海ケーブルネットワーク) 【後援】アメリカ大使館、スペイン大使館 【協力】日本航空

【協賛】エフエム山陰、宝製菓株式会社 【企画協力】ブレーントラスト

【夏】2026/7/11 [土] ~8/30 [日]

マンガを拓く 谷口ジロー展

【みどころ】

緻密な描線で、昭和38年の倉吉を舞台とした『遥かな町へ』やドラマでも人気を博す『孤独のグルメ』を描き出した漫画家・谷口ジロー(1947-2017/鳥取県出身)。デビューから約50年間、その創作は多岐にわたり、「食べる」「歩く」といった日々の営みから、「時代の思想風景」など抽象的な概念に至るまでマンガに昇華してきました。本展では、その探究心が切り拓いた創造の軌跡を紹介します。



谷口ジロー『ヴェネツィア』©PAPIER

<https://tottori-moa.jp/exhibition/view/taniguchijiro/>



【休館日】 毎週月曜日（7/20、8/10 は開館）、7/21(火)

【観覧料（団体・前売）】※

一般 1500(1200)円/ 学生 950(750)円/ 高校生 500(400)円 / 小中学生 300(240)円

【主催】 谷口ジロー展実行委員会

（鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、新日本海新聞社）

【秋】 2026/10/10 [土] ~12/13 [日]

生誕 130 年前田寛治 – ポエジイとレアリスム

【みどころ】

前田寛治の生誕 130 年を記念する大規模な回顧展。

33 歳にして早世した寛治が独自の写実論を追求する中で生み出した実に多彩な作品を通じて、その根幹を支えた「ポエジイ」（詩）と「レアリスム」（写実主義）がどのようなものであったかを見つめ直します。また、里見勝蔵や佐伯祐三ら、若き画家仲間と設立した「一九三〇年協会」の出品作品も併せて御覧いただきます。



前田 寛治 《立てる子供》

<https://tottori-moa.jp/exhibition/view/maetakanji/>

【休館日】 毎週月曜日（10/12、11/23 は開館）、10/13(火)、11/24(火)

【観覧料（団体・前売）】※

一般 1500(1200)円/ 学生 950(750)円/ 高校生 500(400)円 / 小中学生 300(240)円

【主催】 生誕 130 年 前田寛治展実行委員会

（鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、TSK さんいん中央テレビ）

【冬】 2027/2/11 [木・祝] ~4/11 [日]

ゴジラ生誕 70 周年記念 ゴジラ・THE・アート展

【みどころ】

「ゴジラ」は、今なお色褪せず日本だけでなく世界中を魅了する存在であり続けています。養老孟司氏をゼネラルプロデューサーに迎え、現代のクリエイターたちがゴジラという存在をテーマに制作した挑戦的なアート作品群による大規模な展覧会です。ゴジラの造形美や映像の魅力についても、各種のミニチュアや映像、当時の資料などの展示により紹介します。





<https://tottori-moa.jp/exhibition/view/godzilla/>

【休館日】月曜日（3月22日は開館）、3月23日（火）

【観覧料（団体・前売）】※

一般 1800(1440)円/ 学生 1200(950)円/ 高校生 500(400)円 / 小中学生 300(240)円

【主催】

ゴジラ・THE・アート展 実行委員会（鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、TSKさんいん中央テレビ）

※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

※企画展チケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

2026年度開催のコレクション展

》》 コレクションギャラリー1・2

- ・受贈記念：濱田台児 4/18(土) - 6/21(日)
- ・学芸員、守備範囲外の作品を語る 4/18(土) - 6/21(日)
- ・A.L.L. presents
あーとのとびらをひらく 展覧会シリーズ 02 7/14(火) - 10/7(水)
- ・画く力 11/7(土) - 2/21(日)

》》》 コレクションギャラリー3

- ・清水九兵衛 6/6(土) - 9/6(日)
- ・石谷コレクションの陶芸 6/6(土) - 9/6(日)
- ・特集：前田昭博 9/19(土) - 12/13(日)
- ・ヌード - 裸体表現のあれこれ 9/19(土) - 12/13(日)
- ・型染め・筒描き・絞り - 布染の美 1/4(月) - 3/22(月祝)
- ・辻晋堂・堀内正和・八木一夫 1/4(月) - 3/22(月祝)



》》》》 コレクションギャラリー4

- ・特集：物部隆一 5/16(土) - 7/12(日)
- ・岡村吉右衛門さんが描いた動物たち 8/1(土) - 9/27(日)
- ・前田寛治展関連企画：もうひとつの同時代 10/17(土) - 12/20(日)
- ・版画セレクション 1/23(土) - 3/22(月祝)
- ・写真セレクション 1/23(土) - 3/22(月祝)

》》》》》 コレクションギャラリー5

- ・逢かに山水に遊ぶ 5/16(土) - 7/12(日)
- ・受贈記念：福井貞子展 - 緋につつまれて 8/1(土) - 9/27(日)
- ・小早川秋聲 月の世界旅行 10/17(土) - 12/20(日)
- ・特集：中住道雲 1/23(土) - 3/22(月祝)

開館時間・休館日・開館時間・観覧料

開館時間 9:00~17:00(入館は閉館 30 分前まで)

休館日 毎週月曜日 ほか

コレクション展観覧料 一般：400 円 (320 円)
学生・70 歳以上：200 円
高校生以下は無料
* () 内は前売料金・20 名以上の団体料金
※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

公式 Web サイト <https://tottori-moa.jp/>

本件について、ご取材・ご紹介いただける場合は、下記担当までご連絡ください。

[問合せ]鳥取県立美術館パートナーズ 広報担当 (山本・三浦・興治)

Email | info@tottori-moa.jp TEL | 0858-24-5442 WEB | <https://tottori-moa.jp>